

採れたて!!

わかごぼうのニュース

No.42

発行 2017年9月
八尾市パーソナルサポートセンター
大阪府八尾市本町 1-4-1-201
TEL:072-999-7900

わらび粉とわらび餅粉

わらび粉とわらび餅粉。どちらもわらび餅が作れますが、どこが違うのか?その違いを知るために両方作ってみました。

〇わらび粉

材料を量りフライパンに入れて弱火で練り合せていきます。「見た感じカフエオレみたい。」わらび粉は粘り気が強く、フライパンに引付いて練りにくい。「魚とかで練り物作ってる感じ。」「おお!だいぶ色変わってきましたよ。」「艶が出てきたら五分練るんですって。」「くっつー五分?」「だから、これ大変なんですよ。」「焦がさないようにしないといけないから余計にしんどい。」



「おっ、珍しく弱音が。」「しんどいわー。もうー」「あと三十秒くらい。」「五分経った。終了ー。お疲れ様でした。」「手、手が…」

〇わらび餅粉

同じように材料を鍋に量って入れますがこちらは中火で練り合せ。「今度はミルクティーみたい。」「中火で絶えず静かに混ぜる。」「何か違いはありますか?」「匂いが違うというか嗅ぎなれた匂いです。スパーで売ってるやつ。」「何が違うんですかね?」「澱粉の質の違い?」「部屋中に甘い香りが広がります。」

「あ、地獄始まった。白あん練ってるみたい。」「でも、こっちの方が練りやすい。わらび粉はもっと固かった。」「はっきのが十としたらこっちのほうがいい。」「そんなに違う?」「はっきのと比べて粘着が全然違いますね。へらからするりと離れますもんね。」

〇食べ比べてみると

冷蔵庫で一日保存した状態の比較ですがわらび粉はしっとりとして滑らかで口当たり良く、香りも風味も控えめ。わらび餅粉も香りが強くて美味しいのですが、食感はほろほろで食べにくいものでした。粉の違いは大きいですね。
※後日、電子レンジで温めて再挑戦したら本来の風味が回復し、どちらも美味しかったです。

食の好みは様々だ
故に論争など無意味
ですよね~



わかごぼうは

失敗できる場所

家とは違う場所へ出かけた。でもいきなりは不安。お話できなくても一緒に過ごしてみよう。失敗しても構いません。そこからたくさんのお話を学べるから。

この瞬間を待っていました

十分に冷やしたメロンを遂に切ってみる日が訪れました。

「畑で採れたメロン。美味しそう匂います。」
「だよな。何色かな?」「緑やと思いたい。」「緑やったら美味しくないんじゃない?オレンジとかじゃない?黄色とか。」「せつかくなんで切りたいです。」
「そっか、手気つけな。」「んで、どう切りたい?」
「まあ、とりあえずこう切ります。」
「あつ!色ちゃんといっている!おおお、すごい。」
「ちゃんとした色の方や。」「しかも美味しそうメロンの色。」「あ、あ、もっとこうさあ緑とか黄色とか瓜って感じの色かと思ってた。」「テンション上がりますね。」「うん、そやな。指切りなや。」



思ったより
良い出来だね。

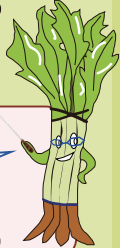
今年は無事に
収穫できたしな



☆参加対象になる方

「自分なりの社会参加の実現を考えたい」と望まれる方で次のうちひとつでも当てはまる方
◇6ヶ月程度、就労や訓練・試験勉強等から遠ざかっている自分を変えたい方
◇少人数の会話から話すことに慣れて自信を持ちたい方
◇行動範囲を広げるきっかけや家族以外の人と接点を持ちたいと望まれる方
※また、上記に該当するご家族・ご親族等のごことでお悩みのある方もご相談いただけます。(ご予約下さい。)

八尾市社会的風土所
わかごぼうに
来ませんか?



自分のペースで
参加できます。

開催時間：毎週木曜日13:00-15:00
開催場所：わかごぼう
八尾市南本町7-6-23
※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

お問い合わせ & 参加申込み
電話：072-992-6921
✉ : wakagobou@yaops.jp
電話受付時間：10:00-17:00 (祝日除く月~金)

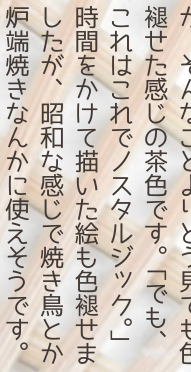
ウツもあまる

出来上がったのは昭和の香り

涼を感じるアイテムを作りたいということで名前からして涼しげな水うちわを自作することになりました。主な材料は竹の骨組み、雁皮紙、天然ニス、のりですが、いきなりのり以外の入手法がわかりません。材料的に完全に工芸品寄りな代物でした。



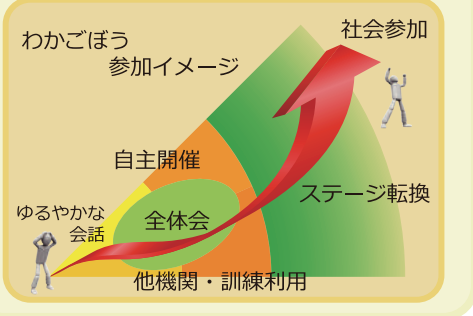
「竹の骨組みの自作は無理やな。となるとまあ、実物のうちわをばらすとして雁皮紙は？」「和紙やな。作る？」「それだけで別企画になるやん。」「なんか寒い所で手漉きするイメージあるわ。」「この辺だと京都とか奈良？」「紙の入手だけで遠足やな。」「難波や堺の日本画材専門店に置いてるかも。とりあえずそっち回りましょう。」



「あとは天然ニスか。で、天然って何が天然なん？」「セラックというカイガラムシが作り出す樹脂が原料。」「虫！」「えー。そんなところで手に入るん？」「お、大きめのホームセンターとか？」「天然ニスは四件目の大型ホームセンターで見つかりましたが、最も入手が困難な材料でした。揃えた材料を組み立てて、一発勝負の給付けを行い、最後に天然ニスを塗れば、透明で涼しげな水うちわの完成…の筈でした。」

八尾市社会的居場所事業 「わかごぼう」について

スモールステップを積み重ねて自己を認容し元気を回復した後、自身が望む社会参加を実現する拠点になる事業です。



したごしらえが大変だったね。

手間暇めっちゃかかる



「今日は。」「個々らい食べてよ。」「きっちり包むのは難しく、どうしてもあんこの薄いつころが出来てしまいます。素直に和菓子屋さんですごいと思いました。」

一方、別テーブルでは余ったあんこで「何してるん？小っちゃくて可愛いなあ。」「そこに白玉一個挟んで。」「マジで？」「可愛く作ってな。」「わぁ、ありがどう。可愛い。マカロンみたい。」「最中も作ってみたいですね。」

茨切の地獄と半殺し



おはぎを作るためにあんこから作りしました。一日目に小豆を浸けておき、二日目からあんこ作りを開始しました。浸けておいた小豆を煮込んで洗い煮込んで洗い（茨切りというらしい）を三回ほど繰り返します。「あ、結構柔らかい。もう潰れるくらい。」「もういいのかな？」

「ちよつと柔らかめに炊くのがコツらしいですよ。」柔らかくなった小豆を砂糖で煮詰めていき、焦げないように常にかき混ぜます。ただただ底が焦げないようにひたすらかき混ぜる単調な作業にだんだんと眠気が出てきました。睡眠に耐えながら続けていると鍋の底がジュージュウと音を立てて煮詰まってきました。「もういいかな？」と思ったら最後に入れる塩を準備していなくて、そこから塩が入られるまで、もう終わったと気を抜いた腕で混ぜていました。地獄でした。できたあんこは粗熱を冷ましてからタッパに入れて冷蔵庫で保管して二日目終了。

三日目は炊けたもち米を半殺しにしています。「えらい柔らかいわね。」「半殺しってどんなやろうね。」「けつこう弾力があるね。重たいやろ？」「簡単に見えてどの程度を半殺しというのか分からずこれでいいのかと不安になりました。あんこもち米を計量しながらどんどん作っていきます。」「変な形にしてもいいよ。」「食べる？」

サーチ行為は禁止です



水うちわに使う材料を探しにやってきたホームセンター。目的の材料があつさり見つかり時間も余ったのでいろいろなコーナーに寄り道してみました。

「これは？」「ニコレクションやっぺ。」

「あー。一応これラムネとかついている食玩扱いですね。」

「お菓子なんこれ？」「そうですね。」

「サーチ行為はご遠慮願います。って注意書きがある。」

「サーチ行為って何？」「こういうランダム性の高いやつをこつそり箱を開けて中身を確認する行為です。」

「へー、買う前に中身を確認する行為をサーチ行為って言うんや。やったらアカンで。」「箱を振って音を聞けばわかるんじゃないんですか？」「耳で聞き分けるの？」

「それできたらプロやと思うけどなあ。」「プロやなあ。」

「あ、カチャカチャしちやダメですよ。」「そやで。お買い上げなんで。アカンってマジで。」

「いや、こつちはカチャカチャ音鳴るんですけどこつちは音鳴らないですよ。」「なんでや？つまり、隙間があるんや。」「だから、あんまり詰まってるないやつや。」

「鳴らないのはつかいやつで鳴る方はスカスカなやつや。」「てか、サーチ行為すんなって。」「振つちやダメなんですか？」「だから、ダメって書いてるやろ。」「ギ、ギリギリの範囲で。」好奇心を抑えるのは難しいですね。

わかごぼう



来月は収穫したトウガンを使ったあつさりメニュー作り、新たな冬作物栽培の準備と種蒔き、不思議な場所やパワースポット探訪などを予定しています。

他にもテーマトークやボランティアなどおなじみメニューに加え、各種シンポジウムなどにもグループ参加予定です。行きたい時が参加時。最初の半歩がここにある。八尾市社会的居場所事業わかごぼう新規参加者募集中です。

各イベントは天候や参加人数により延期や中止の場合があります。